	上業局等	専門学校	開講年度	令和04年度(	2022年度)	授業科目	卒業研究Ⅱ			
科目基礎	計報									
科目番号		0144			科目区分	専門 /	必修			
授業形態		授業			単位の種別と単位	数 履修単	位: 10			
開設学科		電子情報			対象学年	5				
開設期		通年			週時間数					
教科書/教林	 材	教科書:	各指導教員に委ね	aる. 参考書: 各指	導教員に委ねる. 情	報セキュリテ	 ィ教材[高学年分野別導入教材]			
担当教員		電子情報	工学科 全教員							
到達目標	<u> </u>									
		工学および情 造性を発揮し	報工学,通信工学 ,限られた時間内	に関する分野で、習 で仕事を計画的に途	習得した知識・能力を 生め,成果・問題点等	を超える問題( 学を論理的に言	ニ備えて継続的・自律的に学習し,習得 記述・伝達・討論することができる.			
ルーブリ	<u> </u>						1			
			理想的な到達し		標準的な到達レベ	ルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1			研究を進める」 を正確に把握し 発的に関係する , 継続的に学習	とで解決すべき課題 ノ,解決に向けて自 る資料を調査でき 習できる.	研究を進める上で を把握し,解決に 資料を調査できる	向けて関係す	研究を進める上で解決すべき課題を把握できず、関係する資料を調査ができない.			
評価項目2			<ol> <li>その解決に同じます。</li> </ol>	月確化できており 向けて自らの創意・ まで計画的に研究を できる.	研究目的の解決に 研究を進めること		研究目的の解決に向けて計画的に 研究を進めることができない.			
評価項目3			中間発表や最終		中間発表や最終発な討論ができる.	表において適	切 中間発表や最終発表において適切な討論ができない.			
評価項目4					卒業論文を記述で 記述できる.	き, 英文要旨	も 卒業論文や英文要旨が適切に記述 できない.			
学科の到達目標項目との関				- HUた C C る・	一号行へのめ、		1 CC/6V 1			
教育方法		スロしの因	M							
ᄉ	A 73"	雷子情報	に関する実験・研	 究を诵して これす		技術の総合品	5用能力,課題設定力、創造力、継続的			
概要		・自律的 発揮し, 1	に関する実験・研究を通して,これまで学んできた学問・技術の総合応用能力,課題設定力,創造力,継続的 に学習できる能力,プレゼンテーション能力および報告書作成能力を培い,解決すべき課題に対して創造性を 解決法をデザインできる技術者を養成する.							
授業の進め方・方法 (d)(2)a) 学生各自		容は,学習・教育到達目標(A)<意欲>,(B)<専門><展開>,(C)<発表>およびJABEE基準1.2の , b),c),d),(e)~(h)に対応する. が研究テーマを持ち,各指導教官の指導の下に研究を行う. 報セキュリティ導入教材を受講する.								
		<到達目	標の評価方法と基 「知識・能力」1	入教材を受講する. 準> ~7の習得の度合し	)を 中間発表 最終	文举表	T究論文(レポート等を含む)により主			
主意点		全のでは、	標「副を8るを対している。 標「副を8ると要習が、2時では大きなでは、 一部ですると要習が、2時のに究院を要発が、 一部でするでは、2時では、 一方能価中にさは、2時では、 一方にするでは、 一個でするでは、 一個でするでは、 一個でするでは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個ででは、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一個では、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は同じである.卒賞 話し,100点満点で6 にの発表のレベルを記 引が必要である.研究 はあ基礎的知識. 関係論文,書物を与え	終発表, 卒業研究論文を 60点以上の得点 設定する. 記テーマに関す	、0%、 双举研究登表发 2 0%、 双举研			
	気性・履何	く 査究がく , < 研 総:満く学	標「副を含めずいでは、 標「副を含めずいでは、 一副を含めずいでは、 一副を含めずいでは、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部ででは、 一部でいる。 一部では、 一部でいる。 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は同じである.卒賞 話し,100点満点で6 にの発表のレベルを記 引が必要である.研究 はあ基礎的知識. 関係論文,書物を与え	終発表, 卒業研究論文を 60点以上の得点 設定する. 記テーマに関す	0%,卒業研究発表を20%,卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである。 「る周辺の基礎的事項についての知見 、一ト等の課題を与える.			
授業の属	<u>続性・履信</u> ・ィブラーニ	全	標「副を含めずいでは、 標「副を含めずいでは、 一副を含めずいでは、 一副を含めずいでは、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部ででは、 一部でいる。 一部では、 一部でいる。 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一部では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は同じである.卒賞 話し,100点満点で6 にの発表のレベルを記 引が必要である.研究 はあ基礎的知識. 関係論文,書物を与え	終発表, 卒業の 終発表, 卒業の 終研究論文を 6 0点以上の 8 8 8 8 8 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	《一卜等の課題を与える.			
授 <b>業</b> の属 □ アクテ	・ィブラーニ	全	標「副を8を対している。 標「副を8を対している。 原の知識がよっている。 所には、1000年のである。 所には、1000年のである。 がいう求に、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 でも、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のでのでのである。 1000年のでのでのである。 1000年のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は、同じである。卒 がし、100点満点で6 100発表のレベルを設 引が必要である。研究 で多基礎的知識。 「各議で、書物を与え 手成 引を論文、書物を与え	終発表, 卒業の 終発表, 卒業の 終研究論文を 6 0点以上の 8 8 8 8 8 8 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	0%, 卒業研究発表を20%, 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである。 であ得した場合に目標を達成したことである。 ペート等の課題を与える。 卒業研究予稿集:8%, 中間発表			
授 <b>業</b> の属 □ アクテ	・ィブラーニ	全	標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得での知査を含めずと等のに次の気表文頭価です要も、一評職が評・う求に一個がおので現でののでは、一個がでいるでは、では、一個がでいるでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないではないでは、できないできないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 はは同じである。卒 ばし,100点満点で6 1の発表のレベルを設 引が必要である。研究 でる基礎的知識。 「多様論文,書物を与え 手成 引を15%),卒業研究	R発表, 卒業の R発表, 卒業の Rの点以上の得見 設定する。 Rアーマに関す E, また, レイ R発表: 20%,	0%, 卒業研究発表を20%, 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである問辺の基礎的事項についての知見ポート等の課題を与える。  ○ 実務経験のある教員による授金を関係を表現を表現である教員による授金を表現である。			
授 <b>業</b> の属 □ アクテ	・ィブラーニ	全部   全部   全部   全部   全部   全部   全部   全部	標「副を8を対している。 標「副を8を対している。 原の知識がよっている。 所には、1000年のである。 所には、1000年のである。 がいう求に、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 方能価中にさは、1000年のである。 でも、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 は、1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のである。 1000年のでのでのである。 1000年のでのでのである。 1000年のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は同じである。卒6 近し,100点満点で6 心の発表のレベルを設 引が必要である。研究 る基礎的知識。 見保論文,書物を与え 手成 別査15%),卒業研究	<ul> <li>祭発表, 卒業の 会の点以上のの の点以上の。</li> <li>ピアーマに関する。</li> <li>ボテーマに関する。</li> <li>・また、レバスの</li> <li>・発表: 20%,</li> <li>・の到達してののでを通りに学習する。</li> </ul>	0%, 卒業研究発表を20%, 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである問辺の基礎的事項についての知見ポート等の課題を与える。  卒業研究予稿集:8%, 中間発表  □ 実務経験のある教員による授  □ 実務経験のある教員による授  □ ま務経験のある教員による授  □ ま務経験のある教員による授  □ またびきる。			
授 <b>業</b> の属 □ アクテ	・ィブラーニ	Section	標「副を8もでのはト績表研研発論口評し価得で6 標「副を8ものに究究表文頭価です要6 方能価中にさはト理方るに状おの 業団・ソ点 T 内 研 研 研 研 研 研 研 研 研 研 研 ア	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 はに同じである。卒6 はし,100点満点で6 れの発表のレベルを設 引が必要である。研究 る基礎的知識。 身保論文,書物を与え 手成 引査15%),卒業研究	終発表, 卒業の 終発表, 卒業の 所点以上る。 別定すってに関す 記でした。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0%, 卒業研究発表を20%, 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである問辺の基礎的事項についての知見ポート等の課題を与える。  卒業研究予稿集:8%,中間発表  □ 実務経験のある教員による授  □ 実務経験のある教員による授  □ 表別を認識し、継続ことができる。			
	・ィブラーニ	S	標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 「副をきじのはト積表す頭価です要も 下記すでは、)によいつる成 でででであるの学し等のに究内の会要発 ですると、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は同じである。卒6 はし,100点満点で6 れの発表のレベルを設 引が必要である。研究 る基礎的知識。 男保論文,書物を与え 手成 目を15%),卒業研究	整発表, 卒業の 発研点以す マを 0点で ママ た 、	0%, 卒業研究発表を20%, 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである問辺の基礎的事項についての知見ポート等の課題を与える。  卒業研究予稿集:8%,中間発表  □ 実務経験のある教員による授助る上で準備すべき事柄を認識し,継続といできる。 かる上で準備すべき事柄を認識し,継続ととができる。 かる上で準備すべき事柄を認識し,継続ととができる。			
授業の属 □ アクテ 授業計画	・ィブラーニ	Section 2   Section 3   Section 2   Section 3   S	標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 原「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 「副をきじのはト類ないでは、	入教材を受講する。  準 > の習得する	へを,中間発表,最終 は同じである。卒6 はし,100点満点で6 れの発表のレベルを記 が必要である。研究 する基礎的知識。 男係論文,書物を与え 手成 15%),卒業研究	察発表, 卒業の 察研究以す で で で の で で で で で で で で で で で で で で で	○ 0 % , 卒業研究発表を 2 0 % , 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである周辺の基礎的事項についての知見である。  「本業研究予稿集:8% , 中間発表  「本書書 ・表記書 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
授業の属 □ アクテ 授業計画	イブラーニ	S	標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 世	入教材を受講する。  準 > の習得する	へを,中間発表,最終 は同じである。卒6 はし,100点満点で6 れの発表のレベルを記 が必要である。研究 する基礎的知識。 男保論文,書物を与え 手成 15%),卒業研究	察発表の保護の の定じ、一、大学を ののでは、大学を ののでは、大学を ののでは、大学を ののでは、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で、大学で	○ 0 % , 卒業研究発表を 2 0 % , 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである問辺の基礎的事項についての知見である。  「本業研究予稿集:8% , 中間発表  「本書書 , 本表 , 中記書 , 本表 , 中記書 , 本表 , 本			
授業の属 □ アクテ 授業計画	イブラーニ	S	標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 世	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は同じである。卒時 はし,100点満点で6 100発表のレベルを記 計る基礎的知識。 関係論文,書物を与え 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	<ul> <li>発発研究はす ー ま</li> <li>・ こ 、</li> <li>・ こ ・</li> <li>・ こ ・</li> <li>・ こ ・</li> <li>・ こ ・</li></ul>	○ 0 % , 卒業研究発表を 2 0 % , 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである問辺の基礎的事項についての知見である。  「本業研究予稿集:8% , 中間発表を業研究予稿集:8% , 中間発表を業研究予稿集:8% , 中間発表を業研究予稿集:8% , 中間発表を業研究予稿集:8% , 中間発表を業研究予稿集:8% , 中間発表を業研究予稿集:8% , 中間発表を実施した。  「本業のある教員による授助をといてきる。」のる上で準備すべき事柄を認識し , 継続ととができる。 「おる上で準備すべき事柄を認識し , 継続ととができる。」のる上で解決すべき課題を把握し , そのは、またで解決すべき課題を把握し , そのは、またであることができる。			
授業の属 □ アクテ 授業計画	イブラーニ	Section 2   Application 2   Application 2   Application 3   Application 3	標「副をきじのはト績表研研発論口評し価得で 世	入教材を受講する。  準 > の習得する	Nを,中間発表,最終 は、同じである。卒時 はし,100点満点で6 100発表のレベルを記 引が必要である。 計る基礎的知識。 見保論文,書物を与え 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	経済のようでは、 経済のようでは、 発研点はすっては、 一では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	○ 0 % , 卒業研究発表を 2 0 % , 卒業研究を取得した場合に目標を達成したことである。  「る周辺の基礎的事項についての知見である。」  「本業研究予稿集: 8% , 中間発表  「本業研究予格集: 8% , 中間発表  「本書書 ・ 1 を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を			

		9週	l	卒業研	开究					3. 研究のゴールを意識し,計画的に研究を進めることができる.				
		10ì	周	卒業研究					3. 研	究のゴールを意識し, きる.	計画的に研究	で進めるこ こ		
		11ì	周	卒業研究						3. 研究のゴールを意識し,計画的に研究を進めるるとができる.				
	2ndQ	12ì	周	卒業研	开究					3. 研究のゴールを意識し、計画的に研究を進めることができる。				
	21144	13ì	周	卒業研	开究					3. 研究のゴールを意識し、計画的に研究を進めることができる。				
		14ì	周	卒業研究					3. 研	 究のゴールを意識し, きる.	計画的に研究	[を進めるこ		
		15ì	周	卒業研究						3. 研究のゴールを意識し、計画的に研究を進めるとができる。				
		16ì	周											
後期		1週	l	卒業研	开究					5.中間発表と最終発表において、理解しやすく工夫した発表をすることができ、的確な討論をすることができる。				
		2週	l	卒業研	开究					究を進める過程で自ら できる.	の創意・工夫	を発揮する		
		3週	l	卒業研究						究を進める過程で自ら できる.	の創意・工夫	を発揮する		
	3rdQ	4週	l	卒業研	研究				4. 研究を進める過程で自らの創意・工夫を発揮することができる.					
		5週	D 卒業研		業研究				4. 研究を進める過程で自らの創意・工夫を発揮することができる.					
		6週	. 卒業		業研究				4. 研究を進める過程で自らの創意・工夫を発揮することができる.					
		7週	<u> </u>	卒業研	研究				4. 研究を進める過程で自らの創意・工夫を発揮することができる.					
		8週	<u> </u>	卒業研究						研究を進める過程で自らの創意・工夫を発揮する ができる.				
		9週	<u> </u>	卒業研究						6. 卒業論文を論理的に記述することができる.				
		10ì	周	卒業研究						6. 卒業論文を論理的に記述することができる.				
		11ì		卒業研						6. 卒業論文を論理的に記述することができる.				
		12ì		卒業研						6. 卒業論文を論理的に記述することができる.				
	4thQ	13ì	<u></u>	卒業研究		້			6. 卒業論文を論理的に記述することができる.					
		14ì	周	卒業研	开究		る.							
		15ì	5週 卒業研		研究			5.中間 た発表 きる.	5.中間発表と最終発表において、理解しやすく工夫した発表をすることができ、的確な討論をすることができる.					
		16ì												
モデルコ	コアカリキ	-그-	ラムの	学習	内容と	到達日	1標							
分類			分野		学習内容	} =	学習内容の到達目標	<b>三</b>			到達レベル	授業週		
基礎的能力	人文・社科学	±会 <sub>英語</sub>			英語運用 力向上の めの学習		英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことかきる。			よう、英文テクーカル	3			
						工学的な課題を論理的・合理的な方法			方法で明確	催化できる。	3			
		合的な学   総 経験と創   習				2 2	公衆の健康、安全、文化、社会、環境への影響などの多様な観点から課題解決のために配慮すべきことを認識している。				3			
分野横断的	   総合的な			内な学(統	  総合的な	学	要求に適合したシステム、構成要素ととができる。							
能力		と創  習符 考力  造版	習経験	経験と創 🗄	習経験とう造的思考	創「課題や要求に対する設計解を提示する		するための など)を実	るための一連のプロセス(課 ど)を実践できる。					
						7,	提案する設計解が要求を満たすものであるか評価しなければなら ないことを把握している。							
							経済的、環境的、社会的、倫理的、優 続可能性等に配慮して解決策を提案で				3			
評価割合	<u> </u>							ı						
論文			卒		卒業研	开究発表	予稿集	中間発表		合計				
総合評価割合			60			20				12	100			
配点 60			0			20	8			12 100				